

## 協議事項（3）

### 加西市未来型児童館整備構想について

#### ① 未来型児童館に関する検討の経緯

- ・令和3年1月に第1回未来型児童館WGを開催し（仮称）未来型児童館の検討を開始し、主に未来型児童館WG（9回）、子ども子育て会議（4回）での検討を経て、「（仮称）加西市未来型児童館整備基本構想」を策定。

- ・基本構想では、加西市における子ども・子育てを取り巻く現状と課題を踏まえ、施設に求められる役割を再整理し、現状の加西市における子育て環境として必要な機能や施設内容をについて取りまとめた。

- ・未来型児童館のコンセプト（案）

1. 未来型児童館、ここでは「一人ひとりが主人公」。
2. 挑戦（Challenge）・協働（Collaborate）・創造（Create）の3C次世代型人材の育成に繋げる場を創造。
3. 性別や国籍などが異なっても、互いに尊重し合い、支え合う共生社会の実現に向けて、インクルーシブな場所づくり。
4. 郷土への誇りと愛着を育み、一人ひとりの「なりたい自分」を見つける。
5. 子どもたちが将来の夢や目標をもって、自らの個性と可能性を伸ばし、広げていくことができる拠点施設

- ・施設の方向性

1. インクルーシブな遊び場づくり
2. STEAMで未来づくり
3. みんなに優しい窓口づくり

- ・施設整備の考え方

未来型児童館ですべての機能を充足させるのではなく、市全体の既存施設と連携しながら、放課後の子どもたちの居場所、サードプレイスを創出し、その核として未来型児童館を位置づける。

- ・建設候補地の検討

健康福祉会館敷地内と玉丘史跡公園内の2か所について比較検討し、健康福祉会館敷地内に決定

#### ② 「（仮称）加西市未来型児童館整備基本計画」

- ・令和5年6月に「加西市未来型児童館整備計画策定業務」公募型プロポーザルを公告。

- ・市長交代により公募型プロポーザルを中止。